

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,122	7.1	942	9.6	1,085	9.2	129	△80.1
25年3月期第2四半期	5,716	3.2	860	19.2	994	16.3	650	76.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	4	32	—	—
25年3月期第2四半期	21	66	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,494	89.3	32,599	89.3	32,599	89.3
25年3月期	36,674	89.0	32,633	89.0	32,633	89.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 32,599百万円 25年3月期 32,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年3月期	—	—	—	18.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,800	6.2	1,920	12.6	2,150	11.0	1,520	22.3	50	60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	33,000,000株	25年3月期	33,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,959,062株	25年3月期	2,957,892株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	30,041,402株	25年3月期2Q	30,043,669株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景として円安・株高が進行し、緩やかな景気の回復傾向が見られたものの、所得や個人消費の回復は限定的となり、欧州債務問題や新興国など海外景気の減速に対する懸念もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、生活防衛意識の高まりによる節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の2年目として、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。6月に新商品「食べる前のうる酢」、「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」を発売し、7月には埼玉県鶴ヶ島市の「鶴ヶ島太陽光発電所」が稼働しました。また、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めました。

当第2四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したこと及び新商品等が寄与し、売上高は6,122百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は942百万円(前年同四半期比9.6%増)、経常利益は1,085百万円(前年同四半期比9.2%増)となりました。四半期純利益につきましては、「くらすわ」について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として628百万円を特別損失に計上したことにより、129百万円(前年同四半期比80.1%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

①養命酒関連事業

主力商品「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持するため、効果的な販売促進活動に努めました。「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生を訴求するとともに、「胃腸の疲れ」や「ストレス」、「夏の暑さからくる疲れと胃腸虚弱」をテーマとしたテレビスポット広告をエリア毎に順次実施したことに加え、ウェブキャンペーン、雑誌とのタイアップ広告、首都圏における交通広告、ラジオ広告等を実施しました。また、これらに連動し、店頭における販売促進活動を展開しました。特にウェブキャンペーン、交通広告やラジオ広告では、ターゲット層の幅を広げ、若年層や男性に向けた訴求を行うなど、新たな顧客の獲得に注力しました。

また、新商品「食べる前のうる酢」につきましては、関東1都6県のコンビニエンスストアで発売し、認知度を高めるためのテレビスポット広告、雑誌、交通広告等による訴求に加えて、コンビニエンスストア店頭やウェブでのキャンペーン、サンプリングによる販売促進活動を展開しました。また、「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」に新商品「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」の2種類を加え、小売店の取扱い店舗数の拡大に注力するとともに、店頭における露出向上や、メインとなる女性ターゲット層に対する試飲会、イベントへの参加、ウェブキャンペーン等の販売促進活動を実施しました。

海外におきましては、東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、「養命酒」の理解と知名度の向上や商戦期である中秋節における販売促進活動に努めるとともに、「養命酒」以外の商品のテスト販売や現地需要の調査など輸出領域の拡大に向けた各施策に取り組みました。

インターネット通信販売サイト「Yomeishuオンラインショップ」につきましては、「くらすわ」販売商品、新商品等、取扱品目の拡充に取り組むとともに、「養命酒」の顧客への案内や「養命酒健康の森」、「くらすわ」への来場者に向けた紹介、販売促進キャンペーンの実施により、好調に推移しました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、「ドリンク剤」、「サプリメント類」の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は5,813百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、開業3周年イベントを始めとして各種イベントの開催により集客に努め、長野県の地元製品の取扱拡充や、首都圏を始めとした催事出店、ランチメニューの充実、ディナーの団体客の取り込みなどに注力し、知名度の向上もあり、前年同四半期と比較し売上は堅調に推移しました。また、駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」につきましても来場者数、売上ともに順調に推移し、施設運営事業の売上高は238百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

なお、「くらすわ」につきましては、開業以来営業損失を計上しており、当事業年度においてキャッシュ・フローの黒字化を目指してまいりましたが、繁忙期である夏場を終えた第2四半期累計期間の進捗から、当事業年度の計画達成が困難な見込みとなり、今後も収益改善には時間を要すると判断し、固定資産の減損処理を行いました。

③その他

不動産賃貸と本年7月に稼働した鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は70百万円（前年同四半期比55.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ180百万円減少し、36,494百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価の増加等により投資有価証券が716百万円、長期預金が800百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が1,078百万円、固定資産の減損処理等により有形固定資産が560百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ145百万円減少し、3,895百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価の増加等により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が150百万円増加した一方で、未払法人税等が82百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が192百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ34百万円減少し、32,599百万円となりました。これは主に四半期純利益129百万円の計上と配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が411百万円減少し、その他有価証券評価差額金が377百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ878百万円減少し、2,452百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は、545百万円（前年同四半期比96.1%増）となりました。これは主に税引前四半期純利益452百万円、減価償却費244百万円、減損損失628百万円、売上債権の増加額317百万円、法人税等の支払額377百万円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、885百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。これは主に定期預金等の純減による収入200百万円、有価証券の償還による収入500百万円、有形固定資産の取得による支出490百万円、投資有価証券の取得による支出1,101百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、539百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の業績予想につきましては、平成25年10月10日に発表いたしましたとおり、売上高12,800百万円、営業利益1,920百万円、経常利益2,150百万円となる見込みです。また、当期純利益につきましては、当社グループにおける経営の効率化及び保有資産の有効活用を図るため、100%子会社であるヤマツル株式会社を吸収合併することとし、抱合せ株式消滅差益730百万円を特別利益に計上することを見込んでおり、1,520百万円となる見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,291,869	2,212,980
売掛金	2,238,488	2,556,114
有価証券	3,101,357	2,806,426
商品及び製品	294,667	297,841
仕掛品	183,917	180,109
原材料及び貯蔵品	442,268	415,457
その他	250,230	269,717
流動資産合計	9,802,798	8,738,648
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,658,107	3,213,464
その他(純額)	3,376,905	3,260,595
有形固定資産合計	7,035,013	6,474,060
無形固定資産		
	24,483	30,051
投資その他の資産		
投資有価証券	14,342,697	15,058,766
長期預金	3,400,000	4,200,000
その他	2,076,666	2,000,081
貸倒引当金	△7,058	△7,058
投資その他の資産合計	19,812,305	21,251,789
固定資産合計	26,871,802	27,755,901
資産合計	36,674,600	36,494,549
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,441	232,858
未払法人税等	372,461	290,075
賞与引当金	224,128	208,967
その他	1,494,103	1,299,176
流動負債合計	2,377,134	2,031,076
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	1,615,384	1,815,700
固定負債合計	1,663,734	1,864,050
負債合計	4,040,869	3,895,127

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	31,645,365	31,234,302
自己株式	△2,885,173	△2,886,159
株主資本合計	31,086,872	30,674,822
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,546,858	1,924,600
評価・換算差額等合計	1,546,858	1,924,600
純資産合計	32,633,731	32,599,422
負債純資産合計	36,674,600	36,494,549

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,716,458	6,122,133
売上原価	1,889,068	1,971,413
売上総利益	3,827,389	4,150,720
販売費及び一般管理費	2,966,985	3,208,092
営業利益	860,404	942,628
営業外収益		
受取利息	24,952	21,178
受取配当金	103,503	118,220
その他	14,157	11,001
営業外収益合計	142,613	150,401
営業外費用		
支払利息	8,085	7,045
その他	268	102
営業外費用合計	8,353	7,147
経常利益	994,663	1,085,882
特別利益		
固定資産売却益	949	1,500
投資有価証券売却益	—	680
特別利益合計	949	2,180
特別損失		
固定資産除却損	4,337	6,668
減損損失	—	628,606
特別損失合計	4,337	635,274
税引前四半期純利益	991,276	452,787
法人税、住民税及び事業税	314,000	296,000
法人税等調整額	26,401	27,093
法人税等合計	340,401	323,093
四半期純利益	650,874	129,694

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	991,276	452,787
減価償却費	282,944	244,404
減損損失	—	628,606
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,453	△15,161
受取利息及び受取配当金	△128,455	△139,399
支払利息	8,085	7,045
有形固定資産売却損益(△は益)	△949	△1,500
有形固定資産除却損	4,337	6,668
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△680
売上債権の増減額(△は増加)	△185,995	△317,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,369	27,444
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,502	△53,583
未払費用の増減額(△は減少)	△213,481	64,840
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,531	△31,910
その他	△111,767	△82,570
小計	587,875	789,366
利息及び配当金の受取額	134,659	146,648
利息の支払額	△14,606	△12,780
法人税等の支払額	△429,705	△377,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	278,222	545,639
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,500,000	△1,500,000
定期預金の払戻による収入	700,000	1,700,000
有価証券の償還による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△152,913	△490,655
有形固定資産の売却による収入	950	2,199
無形固定資産の取得による支出	△1,753	△9,672
投資有価証券の取得による支出	△500,017	△1,101,085
投資有価証券の売却による収入	—	13,445
その他	△30,588	350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△984,323	△885,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△321	△986
配当金の支払額	△538,310	△538,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538,631	△539,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,244,732	△878,888
現金及び現金同等物の期首残高	3,566,551	3,331,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,321,819	2,452,980

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	前事業年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
養命酒関連事業	5,452,273	5,813,175	11,585,098
養命酒	5,258,057	5,570,140	11,202,157
(うち輸出分)	(183,300)	(183,006)	(454,416)
その他	194,215	243,035	382,941
施設運営事業	218,493	238,152	379,714
その他	45,691	70,805	87,693
合計	5,716,458	6,122,133	12,052,507

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。